

指定管理者モニタリング結果

社会福祉法人敬愛学園(あたご学童保育所)

基準番号	モニタリング基準	モニタリング項目	細目番号	モニタリング細目	22年度 達成状況	23年度 達成状況	24年度 達成状況
①	施設の管理運営を安定して行うことができる実績及び能力があるか	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	1	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか	適正である 適正でない	適正である 適正でない	適正である 適正でない
			2	資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか	適正である 適正でない	適正である 適正でない	適正である 適正でない
			3	延長保育利用料金の徴収は適正に執行されているか	適正である 適正でない	適正である 適正でない	適正である 適正でない
			4	収支計画が適正であること 収支計画が適正に執行されているか	適正である 適正でない	適正である 適正でない	適正である 適正でない
			5	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	適正である 適正でない	適正である 適正でない	適正である 適正でない
			6	職員の管理体制が適正であること	適正である 適正でない	適正である 適正でない	適正である 適正でない
			7	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	適正である 適正でない	適正である 適正でない	適正である 適正でない
	「施設の管理運営を安定して行うことができる実績及び能力があるか」に関するコメント	22年度	本部口座、各学童保育所口座、会計帳簿、領収書が明確に管理されており、適正に実施されている。法人の体制管理も整っており明確な意思決定がなされている。				
		23年度	収支は本部の口座、各学童保育所ごとの通帳、会計帳簿で適正に管理されている。領収書など証拠書類も整理されている。法人としての組織・体制も整っている。				
		24年度	収支は本部の口座、各学童保育所ごとの通帳、会計帳簿で適正に管理されている。職員体制や研修体制が充実しており、指導員の育成にも非常に力を入れている。				
②	施設の公共性・公平性・公正性の担保が図られているか	8	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること 開館日数、開館時間は守られているか	適正である 適正でない	適正である 適正でない	適正である 適正でない	
		9	施設の公共性、公平性、公正性について継続性が保たれているか 文書の管理・保存が適切に行われているか	適正である 適正でない	適正である 適正でない	適正である 適正でない	
	「施設の公共性・公平性・公正性の担保が図られているか」に関するコメント	22年度	育成・業務日誌の記載情報も統一され、文書管理も徹底されている。				
		23年度	運営実績、文書管理とも適切に管理されている。延長保育にかかる利用料金について、公平性を図るため、電波時計を内蔵したタイムカードを導入して厳格な対応を図っている。				
		24年度	運営内容等、それぞれの項目ごとに文書管理がしっかりなされている。延長保育の時間確認は玄関に設置した電波時計で保護者とともに確認し、公平性を保っている。				
③	施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が優れているか	10	利用者の満足度を高めるための方策が講じられていること 利用者満足度調査の結果をもとに具体的なサービス水準の向上を図っているか	(A) B C	A (B) C	A (B) C	
		11	利用者からの苦情処理の体制がとれていること 利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか	(A) B C	(A) B C	(A) B C	
		12	利用時間の延長など具体的なサービス向上が図られたか	A (B) C	(A) B C	(A) B C	
		13	業務実績が豊富であり、ノウハウを蓄積した運営が図られていること 施設の維持管理が良好な状態に維持され、施設のサービス向上が図られたか	(A) B C	(A) B C	(A) B C	
		14	事業計画書に基づく情報の公開、広報が行われているか	(A) B C	(A) B C	(A) B C	
	「施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が優れているか」に関するコメント	22年度	ホームページ、おたよりによる広報活動は、頻度も高く徹底されている。苦情に対しては第三者機関の設置など十分な体制がとられている。				
		23年度	手作りおやつを提供しているが、提供回数や内容で利用者の要望がより高くなっており、満足度調査の評価が若干低くなっている。ホームページやおたよりなどの広報活動については非常に充実している。				
		24年度	手作りおやつを提供し、実施回数や内容で利用者の要望がより高くなるなか、おやつ内容を掲示するなどさらなる充実を図っている。運営している全学童保育所で食育活動を実施し、栄養士の指導のもとクッキング活動に力を入れている。ホームページやおたより、リーフレットなど利用者への保育内容周知だけでなく、学童保育所利用予定者への発信も充実している。				
④	施設の効率的な管理運営が行われ、経費の削減を図る方策が優れているか	15	経費を軽減するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか	A (B) C	(A) B C	(A) B C	
		22年度	エコ、資源の再利用、ゴミの分別に関し法人が高い意識をもって指導員を通じ保育に反映させている。				
		23年度	法人として「エコ意識」が徹底されており、保育にも反映されている。エコをテーマとしたイベントの実施のほか、お絵かき時の不要な裏紙の利用などが徹底されている。				
		24年度	法人として徹底された経費削減意識があり、保育にも反映されている。ゴミをできる限りリサイクルゴミとして出すことで、有料ゴミ袋の排出を抑えている。				

基準 番号	モニタリング基準	モニタリング項目	細目 番号	モニタリング細目	22年度 達成状況			23年度 達成状況			24年度 達成状況		
					A	B	C	A	B	C	A	B	C
⑤	事業の達成目標と実施方針に基づいて事業が行われたか	地域との協働や連携が図られ、又は配慮されていること	16	地域の住民や関係団体等との連携や協働が図られたか	A	B	C	A	B	C	A	B	C
		資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	17	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」と同等の環境に配慮した管理運営が行われているか	A	B	C	A	B	C	A	B	C
		事業計画をきちんと立てておりノウハウを活用している	18	事業計画に基づいた行事は行われているか	A	B	C	A	B	C	A	B	C
「事業の達成目標と実施方針に基づいて事業が行われたか」に関するコメント	22年度	運営している全学童保育所で食育活動を実施しており、栄養士の指導のもとクッキング活動など保育への還元も徹底されている。											
	23年度	運営している全学童保育所で食育活動を実施しており、栄養士の指導のもとクッキング活動に力を入れている。様々なテーマでのイベント(クローバーデー)も充実している。											
	24年度	裏紙、再生紙を使う、最低限の電気利用などの対策の徹底をしている。様々なテーマでのイベント(クローバーデー)も充実している。											
⑥	個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	個人情報の取扱いが適切であること	19	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか	適正である	適正でない	適正である	適正でない	適正である	適正でない	適正である	適正でない	
		緊急(防火、防犯等)対応等危機管理体制がとられていること	20	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか	適正である	適正でない	適正である	適正でない	適正である	適正でない	適正である	適正でない	
			21	事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。または、適正に行えるよう体制が整っているか	適正である	適正でない	適正である	適正でない	適正である	適正でない	適正である	適正でない	
「個人情報保護管理及び危機管理が図られているか」に関するコメント	22年度	震災時メール配信など、緊急時の対応が適正に行われる配慮がなされている。状況に応じたマニュアルが整備されていて、体制が整っている。個人情報保護関係フォルダがあり、情報は施錠できるキャビネットに保管されている。											
	23年度	個人情報については鍵のかかるキャビネットで管理されている。非常時対応のマニュアルや体制も整備されており、事故時には近隣の系列保育園から看護師が応援に駆けつける体制もとられている。											
	24年度	個人情報については鍵のかかるキャビネットで管理されている。非常時対応のマニュアルや体制も整備されており、事故、緊急時には近隣の系列保育園から看護師が応援に駆けつける体制、学童保育所をすぐに開所できる体制が整っている。											

【総合評価】

《22年度》

施設の管理運営については、人員配置、経理内容ともに適正に執行されている。

事業者と指導員が一丸となって安定した学童保育事業を行う努力をしている。

利用者へのきめ細かい配慮をする努力がなされている。

《23年度》

協定内容のとおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されており、良好である。

散田小学童保育所については学校の余裕教室を活用した施設であり、セキュリティの関係からトイレ等の使用に制限がある中で、児童の安全への配慮や衛生面での配慮が適切に行われている。

社会福祉法人として同地域で保育園を運営していることもあり、法人としての組織が機能して学童保育所の運営を行っている印象がある。

24年度は散田小学童保育所及び山田小学童保育所の指定期間の最終年度となるが、今までの実績を活かし、協定以上の成果を期待する。

《24年度》

協定内容のとおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されており、良好である。

あたご学童保育所については地域の関わりが少ない地区ではあるが、町会や学校との交流なども積極的に実施しており、地域での人材発掘にも目を向けている。

25年度はあたご学童保育所の指定期間の最終年度であるが、今までの実績を活かした安定した管理運営を期待する。

平成22年度	S	A	B	C	D
平成23年度	S	A	B	C	D
平成24年度	S	A	B	C	D